

第63期中間報告書
フクダ電子株式会社
2009.09

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



<http://www.fukuda.co.jp/>

証券コード：6960

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第63期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の中間報告書をお届けするにあたり謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、おかげ様を持ちまして本年創業70周年を迎えました。1939年、日本初の心電計に始まり、一貫して呼吸循環器系の医療機器一筋に歩んで参りました。

創業者福田 孝が東京・湯島に作業場を兼ねた事務所を構え、幾たびかの荒波を乗り越えそれでも順調に社業を進展して来ることができました。これはひとえに皆様のご支援ご理解があればこそであり、ここに改めまして深く感謝申し上げます。ごさいます。

さて、人々の「健康に暮らしたい」という望みが切実になる現代社会の中で、安全・安心な医学・医療への期待はますます高まり、そしてその医療の高度化をサポートする医療機器産業の担う役割はいよいよ大きくなっており

ます。当社がこの役割を真摯に果たし続けること、それは当社の歴史に脈々と流れる「社会的使命に徹する」という経営の理念を全員で実践していくことと考えます。

この70年という節目にあたり役員・社員一同は決意も新たに一層社業に精励し、そして社会に貢献することを第一義とし企業価値向上に全力を注いで参ります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご理解と変わらぬご支援を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月

株主様への利益還元について

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要施策の一つとして考え、内部留保を確保しつつ継続的かつ安定的な利益還元を行うことを基本方針としており、当期の中間配当は日頃のご支援にお応えするため、1株当たり40円とさせていただきます。

1株当たりの
中間配当金

40円



代表取締役社長

福田 孝太郎

連結営業の概況

1 営業概況 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済環境は、緩やかな景況感の改善が一部では見られつつも、失業率の悪化など雇用及び所得環境において厳しい情勢が続いております。

医療環境においては、医療費抑制を目的とした医療機関に対するDPC（入院医療費の包括払い）拡大などの医療制度改革が引き続き進められるなど、急性期病院の集約化や在宅療養支援

診療所の増加を始めとした機能分化の進展が見られました。

このような経済状況の下、当社グループの当第2四半期連結売上高は415億78百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益28億3百万円（前年同期比9.6%減）、経常利益29億1百万円（前年同期比8.4%減）、四半期純利益11億14百万円（前年同期比32.8%減）となりました。

2 部門別概況 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

生体検査装置部門 ▶▶▶

血圧脈波検査装置、血球カウンタ、また新型インフルエンザ需要の影響もあり、空気殺菌脱臭装置は引き続き伸張しましたが、心電計関連と超音波画像診断装置は減少しました。

その結果、連結売上高は107億83百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

治療装置部門 ▶▶▶

在宅医療向けレンタル事業とペースメーカーは引き続き伸張しました。AEDは景気後退の影響を受け引き続き減少となりました。

人工呼吸器は新型インフルエンザによる需要増を見込んでいましたが、当第2四半期連結累計期間内における需要はそれほどなく、また新規設備投資や買換え市場においても購入ではなくレンタルによる需要が増加し、売上は減少しました。

その結果、連結売上高は174億79百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

生体情報モニタ部門 ▶▶▶

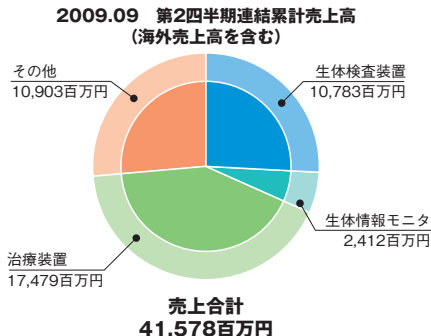
国内、海外共に生体情報モニタの売上は増加しました。

その結果、連結売上高は24億12百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

その他部門 ▶▶▶

その他部門は、記録紙、ディスプレイ電極や上記各部門の器械装置に使用する付属品及び消耗品を主に扱っております。

その他部門の連結売上高は109億3百万円（前年同期比3.6%増）となりました。



3 通期の見通し

世界的な景気後退による企業収益の悪化・個人消費の低迷に加え、急激な為替変動や原材料の高騰など、当面経済情勢の低迷が続くものと思われまます。医療機器業界においても、公立

病院の集約や縮小、患者様の受診抑制が懸念されるなど、厳しい経営環境が予想されますが、現段階においては、通期業績予想について変更ございません。

特集 / 安全性試験センターが、ISO 「安全・安心・快適」をお届けする姿勢が



／IEC 17025を取得。 評価されました。



変化する医療ニーズに即した製品をお届けするフクダ電子では、安全性試験センターを設立。医療機器の開発には様々な評価工程が存在しますが、ここではその中の1つに医療機器の基本となる「安全性試験」が行われています。それは患者及び医療従事者の安全を確保するための厳しい試験項目を含み、評価工程の中でも最も基礎的かつ重要な意味を持っています。その真摯な姿勢と高い信頼性が評価され、フクダ電子の安全性試験センターはISO/IEC 17025を取得。医療用電気機器の試験を実施する試験機関として、財団法人日本適合性認定協会より国内で三番目に認定された試験所となります。

これをひとつのステップとして、今後も「安全・安心・快適」をコーポレートスローガンとし、提供する製品の品質の向上、他社との差別化を図った製品開発、変化する医療ニーズに即した製品戦略に努め引き続き「お客様に信頼される企業」を目指して参ります。



製品トピックス

様々な医療シーンで活躍
無線LANでリンクできる心電計。

New

2つの心電計が作り出す
新しいコミュニケーションスタイル

Cardio
カーディオ・パーティライン
PartyLine



キャリオ
Carryo
ESP-300DX/SP

- 片手で持てるコンパクトサイズボディ
- 4.3インチ カラーディスプレイは高品質な波形を表示



ヴュオ
Vyuo
FCP-8221

- 診療をサポートする各種レポートをご用意。
インフォームドコンセントにも最適。

「キャリオ」で収録したデータを無線LANにてピッと送って、
「ヴュオ」でパッと受け取りレポートを出力。
そんな新しい検査スタイルが様々なシーンで活躍します。

検査まわりはスッキリと!

「キャリオ」はポケットサイズの心電計なので、狭いスペースでも検査が可能。データも簡単に飛ばせて「ヴュオ」でラクラク再生。

より身近な場所へのAED設置により、
地域社会へ貢献。



AED (自動体外式除細動器)

国内の心臓突然死

年間約5万人

心臓突然死は

自宅での発生が80%

※1

突然死(予期しない24時間以内の内因死)は年間約10万人で、そのうち約5万人強が心臓突然死で亡くなっているという結果が出ています。(*1) AED(自動体外式除細動器)はここ最近公共施設などを中心に設置され、認知度も向上してきました。しかし心停止を起こした方々の1ヶ月後の生存率は、わずか10%強でしかありません。また心肺蘇生とAEDの施行は分単位の勝負で、1分間遅れると10%ずつ救命率が下がるといわれています。(*2) AEDが

近くにあり、正しく処置されていたら…。一人でも多くの命を救うため、AEDの普及が今後さらに求められることが考えられます。心臓突然死は自宅での発生が非常に多いことから自宅やマンション等の、より身近な場所へのAED設置が重要と考えます。心臓突然死を少しでも減らすために、フクダ電子はこれからも地域社会に貢献し続けます。

※1: 日本医療学会調査結果より

※2: 総務省消防庁による2007年の救急統計より

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成21年9月30日現在	前 期 平成21年3月31日現在
資産の部		
流動資産	61,205	65,421
現金及び預金	28,152	28,224
受取手形及び売掛金	19,696	23,319
有価証券	998	999
商品及び製品	7,783	8,483
仕掛品	50	44
原材料及び貯蔵品	1,637	1,642
その他	3,086	2,951
貸倒引当金	△ 199	△ 243
固定資産	36,824	35,778
有形固定資産 ※2	20,277	19,975
無形固定資産	2,424	2,668
投資その他の資産	14,122	13,134
投資その他の資産	14,139	13,151
貸倒引当金	△ 16	△ 16
資産合計	98,030	101,200

科 目	当第2四半期 平成21年9月30日現在	前 期 平成21年3月31日現在
負債の部		
流動負債	18,871	21,865
支払手形及び買掛金	11,575	12,401
短期借入金	2,166	2,866
未払法人税等	1,036	1,697
賞与引当金	1,653	1,739
その他の引当金	56	116
その他	2,382	3,043
固定負債	4,692	4,538
長期借入金	19	50
退職給付引当金	3,412	3,230
その他の引当金	166	192
負ののれん	－	0
その他	1,093	1,065
負債合計	23,564	26,404
純資産の部		
株主資本	74,131	75,531
資本金	4,621	4,621
資本剰余金	9,982	9,982
利益剰余金	62,029	61,693
自己株式	△ 2,501	△ 766
評価・換算差額等	334	△ 745
その他有価証券評価差額金	448	△ 595
為替換算調整勘定	△ 113	△ 149
少数株主持分	－	9
純資産合計	74,466	74,795
負債純資産合計	98,030	101,200

注記事項

1. 手形割引高(輸出手形割引高)	31百万円	397百万円
※2. 有形固定資産の減価償却累計額及び減損損失累計額	19,426百万円	19,149百万円

連結損益計算書（累計）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期	前第2四半期（ご参考）
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	41,578	42,813
売上原価	22,305	24,121
売上総利益	19,272	18,691
販売費及び一般管理費※	16,469	15,590
営業利益	2,803	3,101
営業外収益	175	251
受取利息	8	11
受取配当金	85	91
為替差益	13	-
その他	68	149
営業外費用	77	187
支払利息	15	31
為替差損	-	120
投資事業組合運用損	54	-
その他	7	35
経常利益	2,901	3,166
特別利益	253	128
固定資産売却益	3	5
保険差益	33	-
保険解約益	170	100
貸倒引当金戻入額	43	21
その他	2	1
特別損失	834	270
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	12	111
投資有価証券評価損	680	139
減損損失	4	13
前期損益修正損	129	-
その他	7	1
税金等調整前四半期純利益	2,320	3,024
法人税、住民税及び事業税	1,228	1,448
法人税等調整額	△ 22	△ 83
法人税等合計	1,205	1,364
少数株主利益	0	1
四半期純利益	1,114	1,658

注記事項

※ 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

役員従業員給料手当等	5,712百万円	5,596百万円
賞与及び賞与引当金繰入額	1,262百万円	1,312百万円
役員賞与引当金繰入額	56百万円	49百万円
役員退職慰労引当金繰入額	19百万円	25百万円
退職給付費用	451百万円	351百万円
減価償却費	762百万円	731百万円

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期	前第2四半期（ご参考）
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,811	7,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,617	△ 3,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,266	△ 1,010
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 53
現金及び現金同等物の増減額	△ 72	2,543
現金及び現金同等物の期首残高	27,634	21,958
現金及び現金同等物の四半期残高	27,562	24,502

会社の概況 (平成21年9月30日現在)

会社の概況

設立年月日	昭和23年7月6日
資本金	46億2,160万円
事業内容	医用電子機器の製造・販売及び輸出入
主な取引銀行	株式会社東京都民銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社北陸銀行 株式会社商工組合中央金庫 住友信託銀行株式会社

取締役及び監査役

代表取締役社長	福田 孝太郎
専務取締役	藤原 潤三
専務取締役	尾崎 健治
常務取締役	白井 大治郎
常務取締役	谷 裕一郎
取締役	白川 修
取締役	中川 行雄
取締役	坪根 泉
取締役	福田 修一
取締役	高橋 孝司
常勤監査役	小川 吉正
監査役	岡本 芳法
社外監査役	伊澤 辰雄
社外監査役	後藤 啓二

株式の状況

発行可能株式総数	78,000,000株
発行済株式の総数	19,588,000株
株主数	3,161名

自己株式の取得状況

・当中間期中の取得株式は、固定価格取引による自己株式の取得及び単元未満株式の売買による779,966株となっております。

自己株式の処分状況

・当中間期中の処分は行っておりません。

自己株式の保有状況

・平成21年9月30日現在の保有自己株式数は以下のとおりとなっております。

区分	株式数
発行済株式の総数	19,588,000株
自己株式数	1,119,911株

大株主

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
アトミック産業株式会社	2,486	13.46
東京エンタープライズ株式会社	1,447	7.84
ステールパートナーズ ジャパン ストラテジックファンド(オフショア)エルピー	1,088	5.89
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	922	4.99
株式会社みずほ銀行	778	4.22
日本生命保険相互会社	752	4.08
株式会社三菱東京UFJ銀行	725	3.93
ダンスケ バンク クライアンス ホールディングス	641	3.47

※出資比率は自己株式(1,119,911株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況 (％は持株比率)

その他の法人等	27.67%
金融機関	24.20%
外国法人等	21.30%
個人その他	20.94%
自己名義株式	5.72%
証券会社	0.17%

フクダグループ

フクダ電子北海道販売株式会社	フクダ電子中部販売株式会社	フクダライフテック南東北株式会社	フクダライフテック四国株式会社
フクダ電子北東北販売株式会社	フクダ電子三岐販売株式会社	フクダライフテック新潟株式会社	フクダライフテック九州株式会社
フクダ電子南東北販売株式会社	フクダ電子京滋販売株式会社	フクダライフテック関東株式会社	フクダカーディアックラボ東日本株式会社
フクダ電子新潟販売株式会社	フクダ電子近畿販売株式会社	フクダライフテック常葉株式会社	フクダカーディアックラボ西日本株式会社
フクダ電子北関東販売株式会社	フクダ電子南近畿販売株式会社	フクダライフテック東京株式会社	フクダライフテック株式会社
フクダ電子西関東販売株式会社	フクダ電子兵庫販売株式会社	フクダライフテック横浜株式会社	フクダカーディアックラボ株式会社
フクダ電子南関東販売株式会社	フクダ電子岡山販売株式会社	フクダライフテック北陸株式会社	株式会社フクダ電子多賀城研究所
フクダ電子東京販売株式会社	フクダ電子広島販売株式会社	フクダライフテック長野株式会社	株式会社フクダ物流センター
フクダ電子東京中央販売株式会社	フクダ電子四国販売株式会社	フクダライフテック中部株式会社	フクダ電子技術サービス株式会社
フクダ電子東京西販売株式会社	フクダ電子西部北販売株式会社	フクダライフテック関西株式会社	フクダメディカルソリューション株式会社
フクダ電子神奈川販売株式会社	フクダ電子西部南販売株式会社	フクダライフテック南近畿株式会社	北京福田電子医療仪器有限公司
フクダ電子北陸販売株式会社	フクダライフテック北海道株式会社	フクダライフテック兵庫株式会社	FUKUDA DENSHI USA, Inc.
フクダ電子長野販売株式会社	フクダライフテック北東北株式会社	フクダライフテック中国株式会社	FUKUDA DENSHI Switzerland AG

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネット ホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html
公告方法	当社ホームページに掲載する。 < http://www.fukuda.co.jp/ >
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

フクダグループの取り組み

フクダ電子製の医療機器が、グッドデザイン賞を受賞、カラーユニバーサルデザインを取得しました。

フクダ電子のパノラマ心電計 (FCP-8453) が、「2009年度グッドデザイン賞」を受賞しました。また新発売の多機能心電計 ヴュオ (FCP-8221)、並びに酸素濃縮装置 (FH-30/3L) はカラーユニバーサルデザインを取得しています。カラーユニバーサルデザインとは、多様な色覚を持つ様々な人に配慮して、できるだけ多くの人に情報がきちんと伝わるよう、利用者側の視点に立ってつくられたデザインのこと。これからもフクダ電子は、より多くの方々に、使いやすい製品開発に取り組んで参ります。



パノラマ心電計
FCP-8453



酸素濃縮装置
FH-30/3L



ヴュオ

多機能心電計
FCP-8221

特別口座をご利用の株主様へ

特別口座では、当社への単元未満株式（1株から99株）の買取請求・買増請求はできますが、単元株式（100株単位の株式）の株式市場での売買はできません。特別口座に記録された株式を株式市場で売買するためには、ご自身で証券会社等に株主様名義の一般口座を開設し、特別口座から一般口座へ株式を振替える必要があります。なお、すでに証券会社等に一般口座をお持ちの場合、新たに別の一般口座を開設する必要はございません。

単元未満株式（1株から99株）をご所有の株主様へ（買取・買増請求のご案内）

買取請求を利用

単元未満株式の買取請求とは、ご所有の単元未満株式を当社が市場価格にて買い取らせていただく制度です。

買増請求を利用

単元未満株式の買増請求とは、ご所有の単元未満株式と合わせて1単元（100株）となるような株式を当社が市場価格にて株主様にお売りする制度です。

手数料の無料化

従来、当社は単元未満株式の買取・買増にあたり、株主様からの手数料をいただいておりますが、平成21年6月29日より無料化いたしました。

特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ

住友信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル ☎ 0120-176-417

フクダ電子株式会社

東京都文京区本郷3-39-4 TEL.(03)3815-2121代

医療機器のフクダ電子

検索

